

ヒューマン・ポジティブ スキル・コンパス

BESSI Overview

SEL Japan

Mr. Patrick Newell

Dr. Tomoko Imai (Jiyugaoka Gakuen High School)

【教育イノベーションプロジェクト全体イメージ】～教育による「始動人」の育成 / SEL導入後の

変化～



「始動人 輩出県」を目指す

群馬で育った「始動人」が
次の「始動人」の育成に還元

※「始動人」: 自分の頭で考え、他人が動かない領域で
動き出し、生き抜く力を持った人材

教育DXを基盤とした学校での新たな学び ×各年代
(就学前～社会人)に応じた多様な学びの機会を提
供により、「始動人」となるための資質・能力を育成
する

全庁で様々な分野の取組を展開

自分で考え動き出す
→**価値創造(想像)力**育成

デジタルツールを使いこなす
→**デジタル人材**育成

世界に目を向ける
→**グローバル人材**育成

SELによる「非認知能力」により
各項目が向上

SELによる「非認知能力」により
各項目が向上

SEL



学習指導要領を踏まえた教育課程の展開による「**生きる力**」
(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」)の育成

DXを基盤とした新しい学びの確立

誰一人取り残さない学び

高校から幼児教育

社会人から大学

教育基盤整備

民間企業等の多様な主体の参画

実現のために必要な要素

1. 評価方法

— 伸ばすべきスキルの把握

2. 教示方法

— 伸ばしたいスキルを伸ばす方法

3. 練習方法

— 学んだスキルの定着

評価方法

非認知能力の重要性はほぼ全ての人々が認めているが、計測方法については合意できていない。 Harden, 2021

- 人との社会的な関係性を維持する能力
- 感情を制御する能力
- 目標や学習に向かう行動を制御する能力

日々のセブハーンヨンを維持すること。

- 全くうまくできない あまりうまくできない うまくできる かなりうまくできる とてもうまくできる

独創的なアイデアを思いつくこと。

- 全くうまくできない あまりうまくできない うまくできる かなりうまくできる とてもうまくできる

人を和ませること。

- 全くうまくできない あまりうまくできない うまくできる かなりうまくできる とてもうまくできる

多様な分類方法

Table 1

Aligning Prominent Taxonomies of Traits, Competencies, and Skills

BESSIの領域	社会参加スキル	協働スキル	管理スキル	感情回復のスキル	イノベーション・スキル
21st century competencies	Interpersonal competencies		Intrapersonal competencies		Cognitive competencies
Tripartite taxonomy of character	Interpersonal strengths		Intrapersonal strengths		Intellectual strengths
Five Cs of positive youth development	Connection	Caring	Competence	Confidence	
	Character ^a				
CASEL中核的能力	関係性のスキル	社会認識 責任ある意思決定	自己管理	自己認識	
OECDの枠組み	他者との関わり	協働	作業の成果	感情抑制	広い心
Big Five personality traits	Extraversion	Agreeableness	Conscientiousness	Emotional Stability (vs. Neuroticism)	Openness to Experience

THE CASEL 5 広範で相互に関連する5つのコンピテンス領域

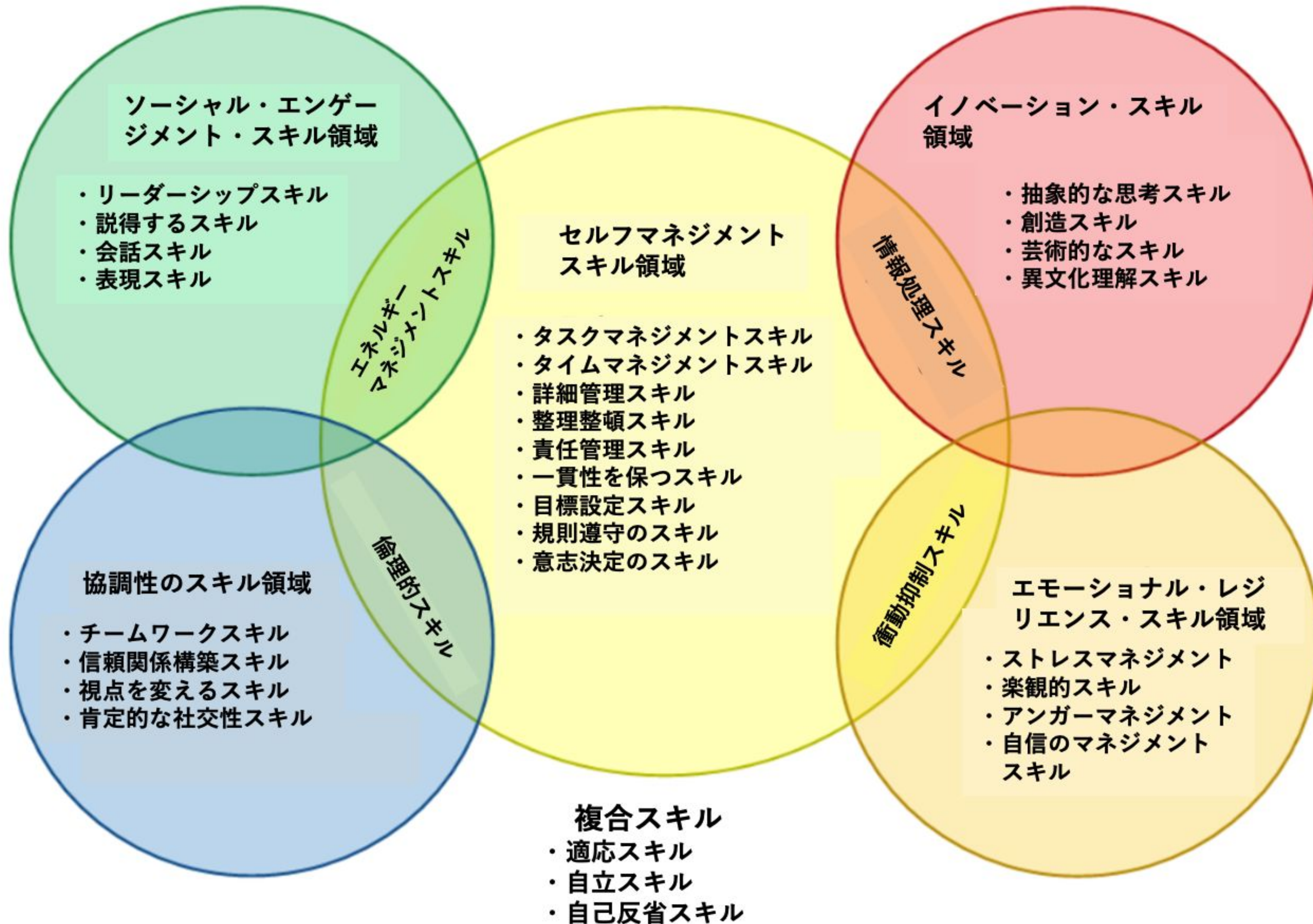
自己認識	自己管理	社会的認識	人間関係のスキル	責任ある意思決定
<p>自分自身の感情、思考、価値観を理解し、それらがどのように文脈の中で行動に影響を与えるかを理解する能力。</p>	<p>さまざまな状況下で自分の感情、思考、行動を効果的に管理し、目標や願望を達成するための能力。</p>	<p>多様な背景、文化、文脈を持つ他者の視点を理解し、共感する能力。</p>	<p>健全で協力的な人間関係を構築・維持し、多様な個人・集団と効果的に接することができる能力。</p>	<p>多様な状況下において、個人の行動や社会的なやりとりに関して、思いやりのある建設的な選択をする能力。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人のアイデンティティと社会のアイデンティティの統合 ・ 個人的、文化的、言語的な資産の確認 ・ 自分の感情を把握すること ・ 正直で誠実であること ・ 感情、価値観、思考を結びつけること ・ 偏見や偏向を検証すること ・ 自己効力感を体験すること ・ 成長型マインドセットを持つこと ・ 興味と目的意識の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の感情をコントロールする力 ・ ストレス対処法の確認と活用 ・ 自己管理、自発的な行動 ・ 個人的・集団的な目標設定 ・ 企画力・組織力 ・ 率先して行動する勇気 ・ 個人及び、集団での主体性 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者の視点に立つ ・ 他者の強みを理解する ・ 共感と思いやりを示す ・ 相手の気持ちを思いやる ・ 感謝の気持ちを理解し、表現する ・ 不当なものを含む多様な社会規範の認識 ・ 状況的な要求と機会を認識する ・ 組織や制度が行動に及ぼす影響を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的なコミュニケーション ・ 良好な人間関係の構築 ・ 文化的コンピテンシーを発揮する ・ チームワークと協調的な問題解決の実践 ・ 対立を建設的に解決する ・ ネガティブな社会的圧力を耐える ・ 集団の中でリーダーシップを発揮する ・ 必要なときにサポートや助けを求める、または提供する <ul style="list-style-type: none"> ・ 他者の権利のために立ち上がる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好奇心旺盛でオープンな性格の持ち主であること ・ 情報、データ、事実を分析し、合理的な判断をする方法を学ぶこと ・ 個人や社会の問題に対する解決策を見出すこと ・ 自分の行動の結果を予測し、評価すること ・ クリティカルシンキングのスキルが学校の内外でどのように役立つかを認識すること ・ 個人、家族、地域社会の幸福を促進するための自分の役割について考えること ・ 個人的、対人的、地域的、組織的な影響の評価

OECD：「社会情動的スキルに関する調査研究」（SSES）の対象スキルの説明

因子	スキル	説明
広い心 (経験への 開放性)	好奇心	考えへの関心、向上心、理解と知的探究、知識欲旺盛な思考態度。
	忍耐力	さまざまな観点に進んで立つ、多様性の尊重、外国の人々や文化をよく理解している。
	創造性	探究や失敗からの学習、洞察、直感力によって新しい方法や考え方を編み出す。
作業の成果 (誠実性)	責任感	約束を守ったり、時間を厳守したりできて信頼できる。
	自制心	個人的な目標を達成するために、注意散漫や突然の衝動を避け、現在の作業に注意を集中できる。
	ねばり強さ	完了するまで作業や活動をたゆまず続けられる。
他者との関わり (外向性)	社交性	友人であれ、他人であれ、他者に近づき、社会的つながりをつくって維持することができる。
	積極性	自信を持って意見や要求、気持ちを声に出し、社会的影響を及ぼすことができる。
	活発さ	精力的にわくわくしながら、のびのびと日常生活を送る。

因子	スキル	説明
協働 (協調性)	共感	他者を理解し、その安寧を気に掛ける。親密な関係を大事にして心を注ぐ。
	信頼	他者は一般に善意を抱いていると考え、過ちを犯した者を許す。
	協同	他者と仲良く暮らし、すべての人々の相互の結びつきを大事にする。
感情抑制 (情緒安定性)	ストレス耐性	不安を効果的に和らげ、問題を冷静に解決できる（気を楽しんで、ストレスにうまく対処する）。
	楽観主義	自分自身と人生全体についての前向きで楽観的な期待。
	感情コントロール	不満を感じたときに腹立ちや怒り、苛立ちを抑える効果的な方法。
補助的指標	達成動機	自分自身について高い基準を定め、それを満たすように努力する。
	自己効力感	課題をこなして目標を達成する自分の力に対する確信の強さ。

32の社会的、感情的、行動的スキル (BESSI)



An Integrative Framework for Conceptualizing and Assessing Social, Emotional, and Behavioral Skills: The BESSI

Christopher J. Soto¹, Christopher M. Napolitano^{2, 3}, Madison N. Sewell², Hee J. Yoon⁴,
and Brent W. Roberts^{4, 5}

¹ Department of Psychology, Colby College

² Department of Educational Psychology, University of Illinois at Urbana-Champaign

³ Department of Psychology, University of Zurich

⁴ Department of Psychology, University of Illinois at Urbana-Champaign

⁵ Hector Research Institute of Education Sciences and Psychology, Tübingen University

People differ in their social, emotional, and behavioral (SEB) skills: their capacities to maintain social relationships, regulate emotions, and manage goal- and learning-directed behaviors. In five studies using data from seven independent samples ($N = 6,309$), we address three key questions about the nature, structure, assessment, and outcomes of SEB skills. First, how can SEB skills be defined and distinguished from other kinds of psychological constructs, such as personality traits? We propose that SEB

BESSI 192 Questions

1	1	Lead a group of people.	集団を率いること。	65	Assert myself as a leader.	リーダーとしての自覚を持つこと。	129	Give a speech.	スピーチをすること。
2	2	Sympathize with other people's feelings.	他者の気持ちに共感すること。	66	Take another person's perspective.	他者の視点に立つこと。	130	Sense other people's needs.	他者のニーズを察知すること。
3	3	Show up for things on time.	時間通りに出席すること。	67	Follow a schedule.	スケジュール通りにすること。	131	Organize my schedule.	自分のスケジュールを管理すること。
4	4	Understand abstract ideas.	抽象的で難しいアイデアを理解すること。	68	Discuss complicated topics and ideas.	複雑な話題やアイデアを議論すること。	132	Think deeply about things.	物事を深く考えること。
5	5	Stay calm in stressful situations.	ストレスを感じる状況でも冷静に対応すること。	69	Cope with stress.	ストレスに対処すること。	133	Calm down when I'm feeling anxious.	不安な状況でも平常心を保つこと
6	6	Tidy up after myself.	後片付けをすること。	70	Keep things neat and tidy.	整理整頓された状態を保つこと。	134	Put things back in their proper place.	物を元の場所に戻すこと。
7	7	Use my energy in productive ways.	生産的に自分のエネルギーを使うこと。	71	Keep going, even when I'm tired.	疲れていても続けること。	135	Stay active.	活動的であること。
8	8	Let go of a grudge.	恨みを手放すこと。	72	See the good in people.	人の良いところを見ること。	136	Forgive people quickly.	人をすぐに許すこと。
9	9	Repeat a task consistently.	単純作業を一貫してやり続けること。	73	Follow a consistent routine.	一貫したルーティーンに従うこと。	137	Do the same task over and over again.	同じ作業を繰り返し行うこと。
10	10	Look inside myself.	自分の内面を見つめること。	74	Understand my emotions.	自分の感情を理解すること。	138	Pay attention to my thoughts and feelings.	自分の思考や感情に注意を向けること。
11	11	Stop myself from feeling pessimistic.	悲観的な気持ちを抑えること。	75	Stay in a good mood.	機嫌のよい状態を保つこと。	139	Keep a positive attitude.	前向きな姿勢を保つこと。
12	12	Keep working until a task is finished.	仕事が完了するまで作業を続けること。	76	Focus on my work.	仕事に集中すること。	140	Work efficiently, without wasting time.	時間を無駄にせず、効率的に仕事をする事。
13	13	Win debates with other people.	他者との討論に勝つこと。	77	Change people's minds.	人の心を変えること。	141	Win arguments.	議論に勝つこと。
14	14	Make people smile.	人を笑顔にすること。	78	Get along with people.	人と仲良くすること。	142	Show people that I like them.	好きという気持ちを伝えること。
15	15	Check work for mistakes.	仕事に間違いがないか確認すること。	79	Take care of details.	細部まで気遣い行動すること。	143	Double-check my work.	自分の仕事をダブルチェックすること。
16	16	Find new ways to do things.	既存の方法とは異なる新しいやり方を見つけること	80	Use my imagination.	想像力を働かせること。	144	Invent things.	発明すること。
17	17	Explain what I am thinking and feeling.	自分が考えていることや、感じていることを説明すること。	81	Express my thoughts and feelings.	自分の考えや気持ちを表現すること。	145	Tell people about my emotions.	自分の感情を人に伝えること。
18	18	Do as I'm told.	言われたことをすること。	82	Follow instructions.	指示に従うこと。	146	Respect authority.	権威を重んじること。
19	19	Try new things.	新しいことに挑戦すること。	83	Adjust to new routines.	新しいルーティーンに適応すること。	147	Try something that's unfamiliar.	慣れないことに挑戦してみる事。
20	20	Calm down when I'm feeling angry.	怒りを感じているときに冷静でいること。	84	Control my anger.	自分の怒りをコントロールすること。	148	Stop myself from getting mad.	怒りを爆発させないように自分を止めること。
21	21	Have other people rely on me.	他人から頼りにしてもらうこと。	85	Manage my responsibilities.	自分の責任を果たすこと。	149	Keep track of my promises and commitments.	自分のした約束に気を配ること。
22	22	Solve puzzles.	論理的な問題を解くこと。	86	Make sense of complex information.	複雑な情報を理解すること。	150	Learn things quickly.	物事を早く習得すること。
23	23	Work as part of a group.	グループの一員として活動すること。	87	Work with people toward a shared goal.	共通の目標に向かって、他者と協力すること。	151	Cooperate to get things done.	協力して物事を成し遂げる事。
24	24	Set clear goals.	明確な目標を設定すること。	88	Focus on my most important goals.	自分の一番大切な目標に集中すること。	152	Work toward my goals.	自分の目標に向かって努力すること。
25	25	Introduce myself to strangers.	知らない人に自己紹介すること。	89	Make conversation with a stranger.	知らない人と会話をすること。	153	Start a conversation.	会話を切り出すこと。
26	26	Find things to like about myself.	自分の好きなどころを見つけること。	90	Find reasons to feel good about myself.	自分自身に満足できるような理由を見つけること。	154	See my strengths.	自分の強みを知ること。
27	27	Make careful decisions.	慎重に判断すること。	91	Weigh the pros and cons before making a decision.	メリットとデメリットを比較検討し、決定すること。	155	Think things through carefully.	物事をじっくりと考えること。
28	28	Draw or paint.	絵を描いたり、塗ったりすること。	92	Appreciate art, music, or literature.	芸術、音楽、または文学を楽しむこと。	156	Make music.	音楽を奏でること。
29	29	Do what's morally right, even when it's difficult.	困難であっても、道徳的に正しいことをすること。	93	Tell the truth, even when I don't want to.	言いたくなくても、本当のことを言うこと。	157	Follow my ethical principles.	自分の倫理信条に従うこと。
30	30	Control my cravings.	自分の強い欲求をコントロールすること。	94	Break my bad habits.	自分の悪い習慣を断つこと。	158	Stop myself from acting on impulse.	衝動的に行動することを止めること。
31	31	Do things independently.	自分だけで物事を行う事。	95	Make decisions on my own.	自分で判断すること。	159	Make my own choices.	自分自身で選択すること。
32	32	Learn about other cultures.	異文化を学ぶこと。	96	Appreciate different cultures.	異文化を理解すること。	160	Understand people's cultural identities.	他者の文化や習慣、伝統を理解すること。
33	33	Make decisions for a group of people.	グループの意見をまとめ、決断すること。	97	Take charge of a situation.	状況を仕切ること。	161	Convince people to follow my lead.	自分のリードについてくるよう説得すること。
34	34	Feel compassion for other people.	他者を思いやる気持ちを持つこと。	98	Respect people's feelings.	他者の気持ちを尊重すること。	162	Understand how other people feel.	他者の気持ちを理解すること。
35	35	Get to appointments on time.	約束の時間を守ること。	99	Manage my time.	自分の時間管理をすること。	163	Plan out my time.	時間を計画的に使うこと。
36	36	Have intellectual or philosophical discussions.	知的な、あるいは哲学的な事柄を議論をすること。	100	Think about the nature of the world.	世の中の本質を考えること。	164	Feel curious about ideas.	好奇心を持つこと。
37	37	Stop myself from worrying.	心配する気持ちを抑えること。	101	Relax when I'm feeling tense.	緊張しているときにリラックスすること。	165	Settle down when I'm feeling nervous.	緊張しても平常心を保つこと
38	38	Organize my personal spaces.	身の回りの整理整頓をすること。	102	Keep things in order.	物を順序立てて整理すること。	166	Clean up after making a mess.	散らかしたら片付けること。
39	39	Find the energy to get things done.	物事を成し遂げるエネルギーをうみ出すこと。	103	Maintain a high energy level.	エネルギーに活動し続けられる。	167	Keep myself motivated.	自分のモチベーションを維持すること。
40	40	Let people borrow my things.	自分のものを人に貸すこと。	104	Assume the best about people.	人はみな基本的にいい人だと信じる事。	168	Trust people.	人を信じること。
41	41	Keep doing a task, even if it's boring.	つまらない作業でもやり続けること。	105	Repeat a standard procedure many times.	標準的な手順を何度も繰り返すこと。	169	Do tasks that are routine or repetitive.	ルーティーンワークや繰り返しの多い作業をすること。
42	42	Understand myself.	自分を知ること。	106	Reflect on my life.	自分の人生を振り返って考えること。	170	Examine myself and my life.	自分自身や自分の人生を考察すること。
43	43	Look on the bright side of things.	物事のポジティブな面を見ること。	107	Stay positive when something bad happens.	嫌なことがあっても前向きに考えること。	171	Stay optimistic when things go wrong.	物事がうまくいかないときでも楽観的であること。
44	44	Get started on tasks.	課題に取りかかること。	108	Keep myself from getting distracted.	気が散らないようにすること。	172	Concentrate on a task.	作業に集中すること。
45	45	Confront people when I disagree with them.	意見が違ふ人たちときちんと向き合うこと。	109	Speak up when I disagree with others.	他の人の意見に反対するときに、はっきり言うこと。	173	Be blunt and direct with people.	人に対してはっきりと率直な意見が言えること。
46	46	Make people feel comfortable.	人を和ませること。	110	Make a positive impression on people.	人に良い印象を与えること。	174	Put people at ease.	人を安心させること。
47	47	Pay attention to details.	細部にまで気を配ること。	111	Find and correct mistakes.	間違いを見つけて修正すること。	175	Pay careful attention to my work.	自分の仕事の細部にまで十分に注意を払うこと。
48	48	Put ideas together in a new way.	アイデアを新しいやり方でまとめること。	112	Come up with creative ideas.	独創的なアイデアを思いつくこと。	176	Come up with new ideas.	新しいアイデアを思いつくこと。
49	49	Express myself.	自分を表現すること。	113	Tell people how I am feeling.	自分の気持ちを人に伝えること。	177	Explain what's on my mind.	人に自分の思いや考えを説明すること。
50	50	Obey the law.	法律に従うこと。	114	Do what I'm supposed to do.	自分がやるべきことをやること。	178	Follow the rules.	規則に従うこと。
51	51	Adapt to new surroundings.	新しい環境に順応すること。	115	Step out of my comfort zone.	自分の慣れた環境から一歩踏み出すこと。	179	Adapt to change.	変化に適応すること。
52	52	Control my temper.	怒りやいら立ちをコントロールすること。	116	Stop myself from getting angry.	腹が立つ前に自分を止めること。	180	Settle down when I'm feeling annoyed.	イライラしそうな時は落ち着くこと。
53	53	Follow through on commitments.	約束したことをやり遂げる事。	117	Fulfill my duties and obligations.	自分の義務と責任を果たすこと。	181	Follow through on promises.	約束を守ること。
54	54	Handle a lot of information.	多くの情報を扱うこと。	118	Process new information.	新しい情報を理解すること。	182	Find logical solutions to problems.	問題に対して論理的な解決策を見出すこと。
55	55	Contribute to group projects.	グループプロジェクトに貢献すること。	119	Collaborate with classmates or coworkers.	クラスメートや同僚と共に活動すること。	183	Cooperate with other people.	他者と協力すること。
56	56	Make plans to achieve a goal.	目標を達成するための計画を立てること。	120	Work hard to succeed.	成功するために努力すること。	184	Set high standards for myself.	自分自身に高い基準を設けること。
57	57	Meet new people.	新しい人に会うこと。	121	Talk to people.	人に話しかけること。	185	Talk to classmates or coworkers.	同級生や同僚に話しかけること。
58	58	Have confidence in myself.	自分に自信を持つこと。	122	Respect myself.	自尊心を持つこと。	186	See my good qualities.	自分の良いところを見つけること。
59	59	Stop and think things through.	立ち止まって、よく考えること。	123	Think before acting.	行動する前に考えること。	187	Consider the consequences of my decisions.	自分の意思決定の結果を考えること。
60	60	Create art.	アートを制作すること。(例：作曲作詞、美術制作、執筆活動など)	124	Engage in artistic activity	芸術活動を行う	188	Write stories or poems.	物語や詩を書くこと。
61	61	Take responsibility when I've made a mistake.	自分の失敗に責任を持つこと。	125	Stop myself from lying or cheating.	嘘やごまかしをしないようにすること。	189	Be honest with people.	人に正直であること。
62	62	Resist temptations.	誘惑に耐えること。	126	Control my impulses.	自分の衝動をコントロールすること。	190	Avoid temptation.	誘惑を避けること。
63	63	Think for myself.	自分で考えること。	127	Do things on my own.	自分のことは自分でやること。	191	Get things done by myself.	自分の力で物事を成し遂げる事。
64	64	Understand people from different backgrounds.	異なる背景を持つ人々を理解すること。	128	Study other languages or cultures.	他の言語や文化を勉強すること。	192	Get along with people from different backgrounds.	異なる背景を持つ人々と仲良くすること。

全方位からのアセスメント

本人 : 学生、先生、保護者

観察者 : 学生、先生、保護者

社会・情動・行動的スキルアセスメント

この度、Social Emotional and Behavioral Labが研究開発したBESSI 32 Skill Assessmentの日本語へのローカライズを、厳選された96問を使用して完了したことをお知らせします。

説明の下にあるボタンをクリックすると、社交、感情、行動スキルを測るアンケートが始まります。このアンケートにかかっている項目は、人間関係を築き維持したり、感情をコントロールしたり、目標を達成したり、経験から学ぶために重要なスキルです。目標設定スキル、リーダーシップスキル、チームワークスキル、クリエイティブスキル、エモーショナルマネジメントスキルなどが含まれます。

- このアセスメントは、13歳以上を対象としています。
- アンケートの記入には15分程度かかります。
- アンケートへの回答に正解や間違いはありません。思った通り正直にお答えください。
- アンケートへの回答結果は、科学的な研究に使用されますので、すべての質問に正確にお答えください。
- アンケートの結果は、回答を送信して頂いた直後に、記入していただいたEメールアドレスに送らせて頂きます。
- 下の同意書を読んでください。アンケートを記入するメリットや記入者の権利などが書かれています。

同意書

あなたのアンケート記入への参加は自由です。アンケートに回答したことは記録され、研究に使われることを同意することになります。この研究のデータが発表される場合には、個人を特定できる情報は含まれません。あなたはいつでも同意を取り下げ、研究への参加を中止することができます。そのため、この研究に参加することに関して予見されるリスクはありません。

この研究の結果は無料であなたに提供されます。あなたへの利益は、あなたの社会的、感情的、そして行動的スキルに関するフィードバックであり、自己に関するより深い理解を得られることとなります。

アンケート記入のための説明：

アンケートは、様々な活動について、あなたがどれくらい上手くできるかをお答えください。例えば、「あなたは課題の指示にどれくらい従うことができますか？」という質問があります。その場合は、その活動をよくするかその活動が好きということとは関係なく、その活動がどれくらいうまくできるかをお答えください。

第三者を評価している場合は、第三者評価ボタンをクリックしてください。

- 私は[同意書](#)と[プライバシーポリシー](#)を読みまし、その条件に同意します。

[社会・情動・行動的スキルアセスメント](#)

[第三者評価アセスメント](#)

社会・情動・行動的スキルアセスメントの回答が完了しました。お疲れ様でした！

このテスト結果は、これらの領域におけるあなたの強みと課題を理解するのに役立ち、個人的な成長のためのヒントを与えてくれるものです。結果がメールで届くまで、3分ほどお待ちください。

あなたの人生経験に基づいてパーソナライズされたフィードバックを得るために、オプションの個別状況調査を受けていただくことをお勧めします。このアンケート調査は、あなたの社会情動行動的スキルがあなたの生活の中でどのように機能するかについて理解を深めるものです。

このアンケート調査を受けることで、さらに自己成長を図ることができます。あなたの回答は機密扱いとなり、答えたくない質問は省略することができます。あなたの幸福と自己認識を高めるために、当社のプラットフォームをご利用いただき、ありがとうございます。

[学生向け](#)

[教員向け](#)

[保護者の方へ](#)

[一般の大人向け](#)

SEL JAPAN

個別状況調査 Contextual Questions

[お問い合わせ](#)

学生向けの質問

あなたが将来

あなたが将来の職業を選ぶ上で、次のことはどのくらい重要だと思いますか。

自分の職業に
両親・保護者

親しい友人の
計画

学校での自分
成績

自分の才能

自分の趣味

希望する仕事
ための教育や
選択があること

教育や訓練の
経済的支援の
有無

希望する職業
の期待額

希望する職業
機会

希望する職業
的地位

あなたは将来

全くない

成長思考に
対して

十分に努力を
誰もが知性を
きる

十分に努力を
ば、誰もが優
い成績をとる

十分に努力を
ば、誰もが固
い成績をとる

十分に努力を
ば、誰もが奮
なれる

十分に努力を
ば、誰もが化
手に関わる
させられる

全く重要ではない あまり重要ではない どちらでもない やや重要 とても重要

自分の職業に対する
両親・保護者の期待

とても満足している

親しい友人の将来の
計画

学校での自分の学業
成績

自分の才能

常にそうだった

自分の趣味

希望する仕事をする
ための教育や訓練の
選択があること

教育や訓練のための
経済的支援の有無

希望する職業の給与
の期待額

とてもそう思う

希望する職業の雇用
機会

希望する職業の社会
的地位

仕事上のストレスに対処するために、次のことをどの程度しますか。

	全くしない	ほとんどない	ときどき	たいてい	いつも	とてもそう思う
ユーモアのセンスを保つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
良好な人間関係を保つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
楽観的に問題に対処する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
長時間労働する（残業・休日出勤を含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家族や親しい友人と話をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
規則正しい睡眠習慣を維持する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現実的な目標を設定する（仕事の限界を認識する）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事以外の活動や遊びは控えめにする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
健康習慣を維持する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
精神的な成長に役立つ活動をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

あなたやご家族の誰かが、お子様と一緒に次のことをどれくらいの頻度でしますか。

	全く、またはほとんどない	年1~2回	月1~2回	週1~2回	毎日、またはほぼ毎日
学校でどう過ごしているのか話し合う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
テーブルを囲んで一緒に食事をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
会話を楽しむ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
宿題を手伝う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校での困ったことについて、子供と相談する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校で学んでいることに興味を持つ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
将来の教育について話し合う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学業成就を応援する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

実施した対象

- 中学（学生、保護者、先生）
- 高校（学生、保護者、先生）
- 大学（学生）

レポート

学校生全体結果

回答者657名 実施日07.31.23

結果を振り返ってみましょう：アセスメントの結果を見て、どのスキルが最も得意で、どのスキルの改善が必要かを考えてみましょう。それらが日常生活でどのように現れ、個人的または仕事上の成果にどのような影響しているかを振り返ってみましょう。

最下位スキル：衝動制御

意図的な衝動に抵抗するスキルのことです。誘惑を避けること、悪い習慣を断つこと、欲求をコントロールすることが含まれます。スキルの向上は、より良い意思決定、より健康的な習慣に繋がります。

このスキルを伸ばすには：

- ・誘惑に負けそうな時は、代替手段を見つけておく。衝動的な行動を取りそうになったら、一時停止する。
- ・悪い習慣の原因を特定し、行動を変えるための計画を立て、必要があれば友人や専門家からサポートを求める。計画に対する進捗状況を確認し、成果を褒める。
- ・短期的な利益よりも長期的な利益を考える。
- ・誘惑に抵抗するために、屈服した場合の結果を想像する。



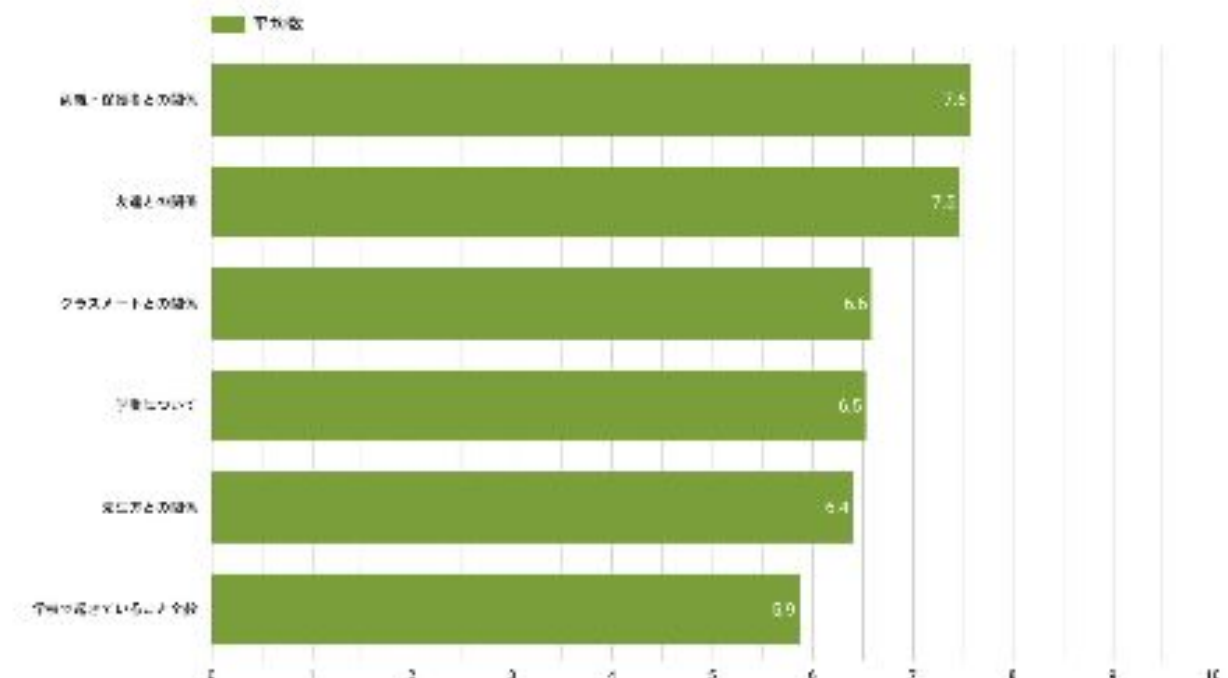
ヒューマンポジティブになろう。

- 1位. 信頼：他人を信頼し、許すことができる。
- 2位. 共感力：他人の考えや気持ちを理解する。
- 3位. 社交性：他者から肯定的な態度を引き出す。
- 4位. 文化的コンピテンシー：異なる文化的背景を理解し、受け入れる。
- 5位. チームワーク：他者と協力して共通の目標を達成する。

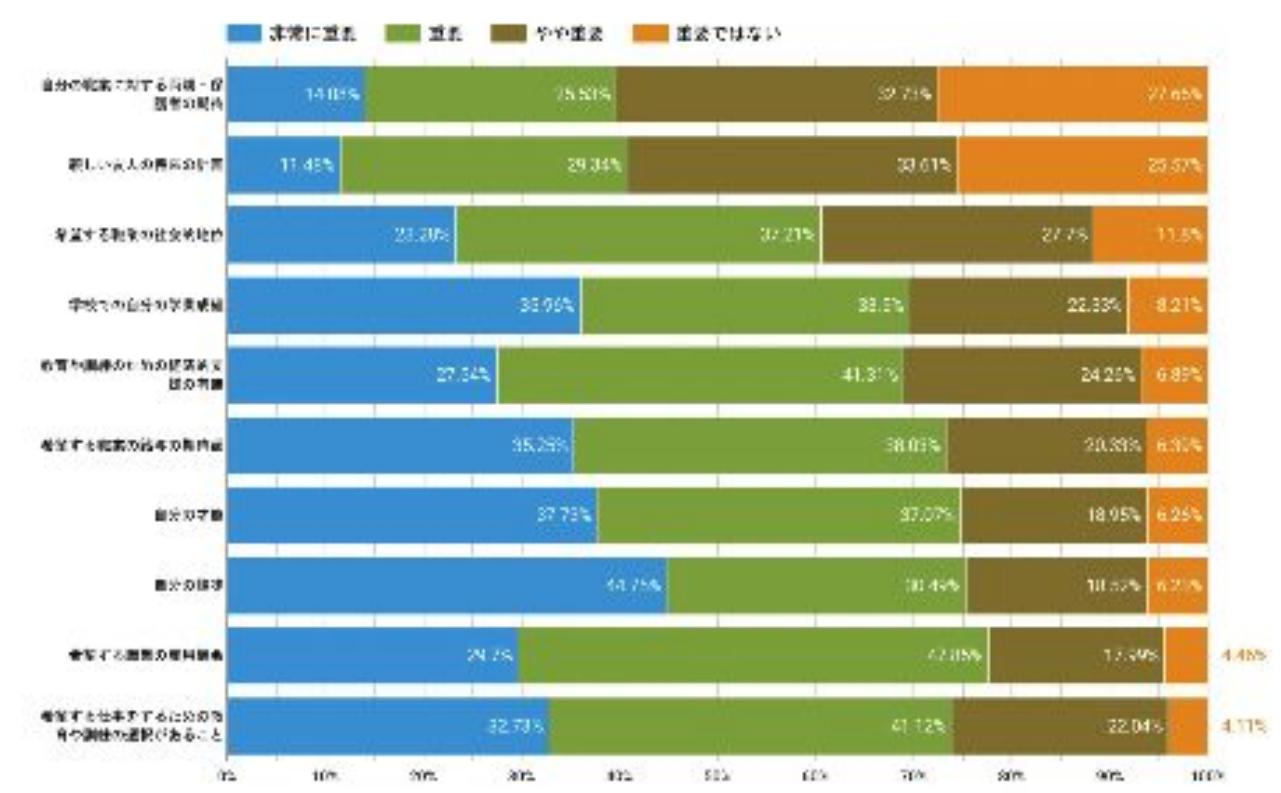
- 6位. 規則遵守：指示、規則、規範に従う。
- 7位. 会話力：人間関係を構築し、維持する。
- 8位. 自立性：自分で考え、働き、決断する。
- 9位. 責任管理：約束を果たす。
- 10位. 創造性：新しいアイデアを生み出す。
11. 自己内省：自分の考えや感情を理解する。
12. 倫理観：困難な状況下でも倫理的に行動する。
13. 芸術性：新しいことに挑戦し、変化に順応する。
14. 意思決定：理にかなった判断をする。
15. 適応性：新しいことに挑戦し、変化に順応する。
16. 楽観性：困難な状況でも楽観的な姿勢でいる。
17. 詳細管理：慎重で徹底した仕事をする。
18. 一貫性：ルーティンワークを確実にこなす。
19. 課題管理：課題を完了と目標達成のために粘り強く取り組む。
20. 意欲管理：生産的にエネルギーを使う。
21. 目標管理：明確で意欲的な目標を設定する。
22. 表現力：自分の考えや気持ちを他者に伝える。
23. 自尊心：自分自身に対して前向きな気持ちを持ち続ける。
24. 時間管理：効率的に時間を使いながら目標を達成する。
25. アンガーマネジメント：怒りや苛立ちを抑える。
26. 情報処理：新しい情報を処理し、適応する。
27. 抽象的思考：抽象的で難しいアイデアに取り組む。

28. 説得力：効果的に議論を展開できる。
29. ストレス耐性：ストレス、不安、恐怖をコントロールする。
30. 整理整頓スキル：個人スペースや物を整理する。
31. リーダーシップ：自分の意見を主張し、集団の中で発言する。
32. 衝動制御：意図的に、強い欲求を抑える。

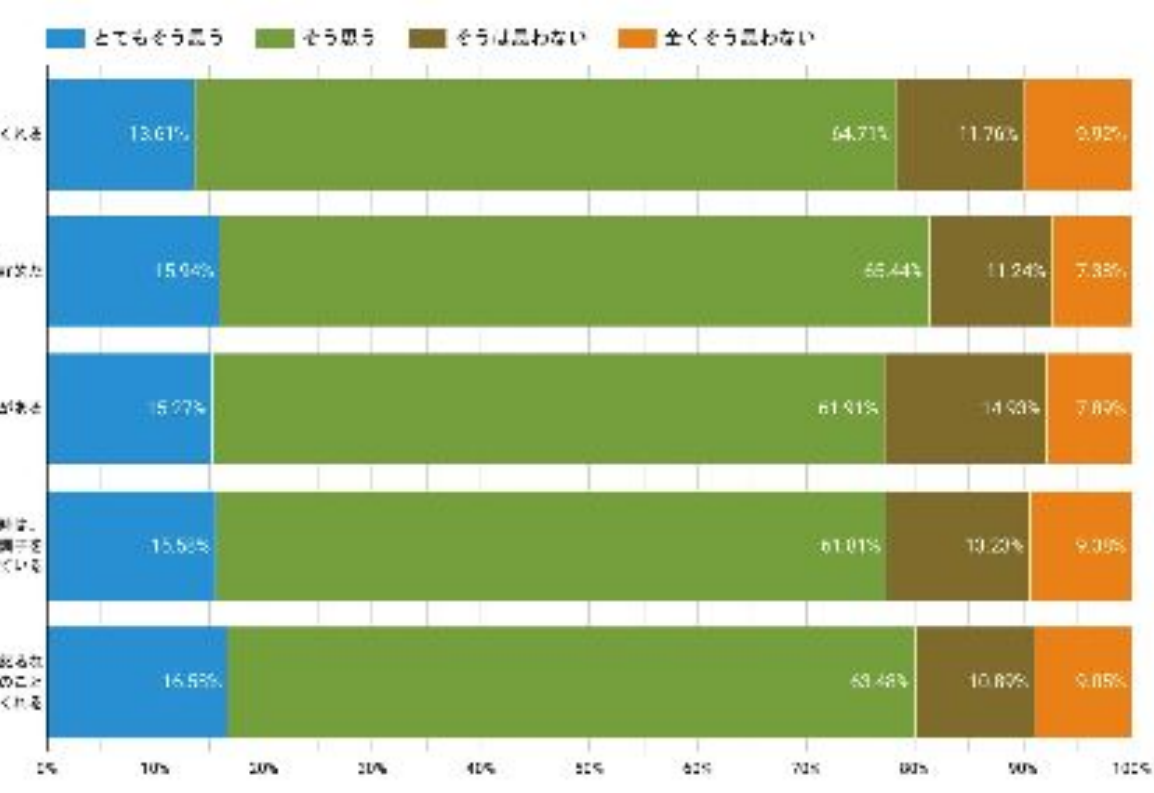
あなたが置かれている環境について、どのくらい満足しているかを「0」から「10」の数値で回答してください。「全く満足していない」は「0」、「完全に満足している」は「10」になります。



あなたが将来の職業を選ぶ上で、次のことはどのくらい重要だと思いますか。



先生方について、次のことは、あなたにどのくらいあてはまりますか。



スキルカテゴリー順位

- イノベーションスキルカテゴリー**（あなたの最も得意なスキル領域）
斬新なアイデアや体験に取り組むための能力。
- 複合領域スキルカテゴリー**
複数のスキル領域の側面を組み合わせるスキル。
- 心理的レジリエンススキルカテゴリー**
自らの感情や気分を上手くコントロールする能力。
- 社会的関与スキルカテゴリー**
他者と積極的に関わるために使用される能力。
- セルフマネジメントスキルカテゴリー**
目標を効果的に追求し、タスクを完了するために必要な能力。
- 協調性スキルカテゴリー**
良好な社会的関係を維持するための能力。

トップ10スキルランキング

- 1位. 説得力**：効果的に議論を展開する。
- 2位. 社交性**：社交的な場面で適切に振る舞い、他者と円滑にコミュニケーションをとる。
- 3位. ストレス耐性**：ストレスに対し、その影響を最小限に抑え、心身の健康を維持する。
- 4位. 意欲管理**：目標やタスクに対して、必要な意欲や活力を管理する。
- 5位. 自己内省**：自分自身の思考や感情を理解する。
- 6位. 整理整頓スキル**：物理的な環境や情報を整理整頓する。
- 7位. 信頼**：他者を許し信頼する、そして信頼される。
- 8位. 共感力**：他者の感情や考えを理解し、共感を表現する。
- 9位. 倫理観**：倫理的な判断を下し、行動する。
- 10位. 会話力**：他者とのコミュニケーションを円滑に行う。

全体スキル順位

- 11位. 責任管理 : 約束を果たす。
- 12位. 規則遵守 : 指示、規則、法律等に従う。
- 13位. 情報処理 : 自分の思想、感情、アイデア、意見や情報を他者に効果的に伝える。
- 14位. 時間管理 : 効率的な時間管理で、計画的に物事を進め、目標を達成する。
- 15位. 表現力 : 自分の思想、感情、アイデア、意見や情報を他者に効果的に伝える。
- 16位. 意思決定 : 情報を収集し、分析し、選択をする。
- 17位. チームワーク : チームの一員として効果的に仕事ができる、他者と協力して目標を達成する。
- 18位. 自尊心 : 自分自身を評価し、受け入れ、尊重する。
- 19位. 詳細管理 : 細部に注意を払い、詳細な情報や要素を適切に管理する。
- 20位. 目標管理 : 目標を設定、計画し、遂行する。
- 21位. 芸術性 : 芸術を創造したり、鑑賞したりする。
- 22位. 自立性 : 自分で考え、責任を持ち、決定したり問題解決したりする。
- 23位. 衝動制御 : 衝動的欲求を意図的に抑制する。
- 24位. 適応性 : 新しいことに挑戦したり、環境変化に順応する。
- 25位. 課題管理 : タスクやプロジェクトを効果的に計画、実行し、完了する。
- 26位. 一貫性 : 一貫して自己の価値観、原則、行動、および目標に従う。
- 27位. 抽象的思考 : 具体的な状況や事象から抽象的な概念やパターンを抽出し、理解する。
- 28位. リーダーシップ : 共通の目標に向かって他者を導く。
- 29位. 楽観性 : 困難な状況でも前向きな姿勢を維持する。
- 30位. 創造性 : 新しいアイデアを生み出す。
- 31位. アンガーマネジメント : 怒りや苛立ちを上手くコントロールする。
- 32位. 文化的コンピテンシー : 異なる文化的背景を理解し、受け入れる。

● 複合領域

複数のスキル領域の側面を組み合わせるスキル。

● セルフマネジメント

目標を効果的に追求し、タスクを完了するために必要な能力。

● 協調性

良好な社会的関係を維持するための能力。

● 社会的関与

他者と積極的に関わるために使用される能力。

● イノベーション

斬新なアイデアや体験に取り組むための能力。

● 心理的レジリエンス

自らの感情や気分を上手くコントロールする能力。

抽象的思考

具体的な状況や事象から抽象的な概念やパターンを抽出し、理解するスキルのことです。スキルの向上は、批判的思考力、問題解決力、知的好奇心を高めます。また、学習能力や柔軟性の向上、新しい情報や状況への適応にも役立ちます。

このスキルを伸ばすには：

1. 複雑なトピックやアイデアについて議論する機会を作る。そのような場に参加する。
例) 知的な会話に参加したり、示唆に富む本を読んだり、ディスカッショングループやフォーラム、ワークショップに参加する。
2. 多様な視点を探求する。
例) 哲学と論理、社会と文化、文学とフィクションなど、異なる視点を追求し抽象的思考を養う。
3. 志を同じくする人を探し、お互いの思考やアイデアを自由に表現し合う。
4. 異なる複数の文化の視点から一つのテーマについて考える。
例) 日本の視点から、アフリカの視点から、インドの視点から、中国の視点から。
5. 考えを日記に記録する。
例) 人生の大きな問いについて
6. 抽象的なアイデアを小さな要素に分解し、身近な概念に関連づけてみる。
例) 幸福について考える場合には、まず自分が何を幸せに感じるかから、考える。

整理整頓スキル

物理的な環境や情報を整理整頓するスキルです。物質的なものを整理することだけでなく、物事の優先順位を意識し、整理することも含まれます。自分自身の所有物や空間に責任を持って管理することは、自らの行動に責任を持つことでもあります。個人の効率性や生産性の向上、ストレス管理などに影響を及ぼします。

このスキルを伸ばすには：

1. 自分にあった整理整頓方法を知る。
例) 書籍やSNSなどから情報を得て、幾つかの方法をトライしてみる。
2. 共有スペースを綺麗に保つことは、自分の行動に責任を持つこと、そして他者やその環境を尊重するのだと理解する。
3. 時期を決め、定期的な断捨離を行い所持品を把握する。
例) 週に1回(例：毎週月曜日)、月に1回(例：毎月1日)など、定期的に取り組む日を決めておく。
4. 必要以上に物を増やさないことで、機能的な空間を維持する。
例) 不要になったものは寄付する、リサイクルショップに持ち込む。書類や写真、音楽などを可能な限りデジタル化し、物理的なメディアを減らす。
5. 物の位置を大まかなカテゴリーごとに決め、使用後は元の場所に戻す習慣を身につける。

リーダーシップ

共通の目標に向かって他者を導くスキルです。例えば、他者の意欲を高めること、タスクを適材適所に委任すること、決定を下すこと、チームメンバー間の対立を仲裁すること、ポジティブな職場環境を作り出すことなどを求められます。スキル向上には、深い自己認識、他者への共感力、EQ（心の知能指数）の高さなどが求められます。

このスキルを伸ばすには：

1. リーダーとしてのビジョンを、わかりやすくメンバーに共有する。
2. 他者と協働することの大切さを理解する。
例) メンバーがそれぞれの得意な分野に集中できるため、時間とリソースの無駄が減る。他のメンバーから新しいスキルや知識を学び、自分のスキルを向上させることができる。アイデアを共有し合い、話し合うことでクリエイティブな解決案が生まれやすくなる。
3. チームのモチベーションに意識を向ける。
4. チームからの信頼を得る。
例) メンバーの価値観や感情に理解を示す。
5. メンバー個々の強みやニーズを考慮し、それぞれの能力を発揮できる機会をつくる。
6. チーム全体の利益につながる意思決定を行う。
例) メンバー間のコミュニケーションとフィードバックを促進する。チームの優先順位を、メンバーと協力しながら明確化する。
7. チーム全体の目標達成に向け、積極的に自ら行動する。

衝動制御

衝動的欲求を意図的に抑制するスキルのことです。誘惑を避けること、悪い習慣を断つこと、欲求をコントロールすることが含まれます。スキルの向上は、より良い意思決定、より健康的な習慣に繋がります。

このスキルを伸ばすには：

1. 誘惑に負けそうな時は、代替手段を見つけておく。
例) 友達と一緒に活動する約束をし、楽しいことと結びつけ気持ちを維持する。
2. 衝動的な行動を取りそうになったら、思考や行動を一時停止する。
3. 悪い習慣の原因を特定し、行動を変えるための計画を立てる。必要があれば友人や専門家からサポートを求める。
例) スマートフォンを長時間使用しないよう、通知を制限する・アプリのアクセスを制限する・アプリ自体を整理する。
4. 悪い習慣を断つためにたてた計画に対する進捗状況を確認し、自らの成果を褒める。
5. 短期的な利益よりも長期的な利益を考える。
6. 誘惑に打ち勝つために、誘惑に負けなかった時の結果を想像する。
例) 成功した自分の状況・状態をイメージする。

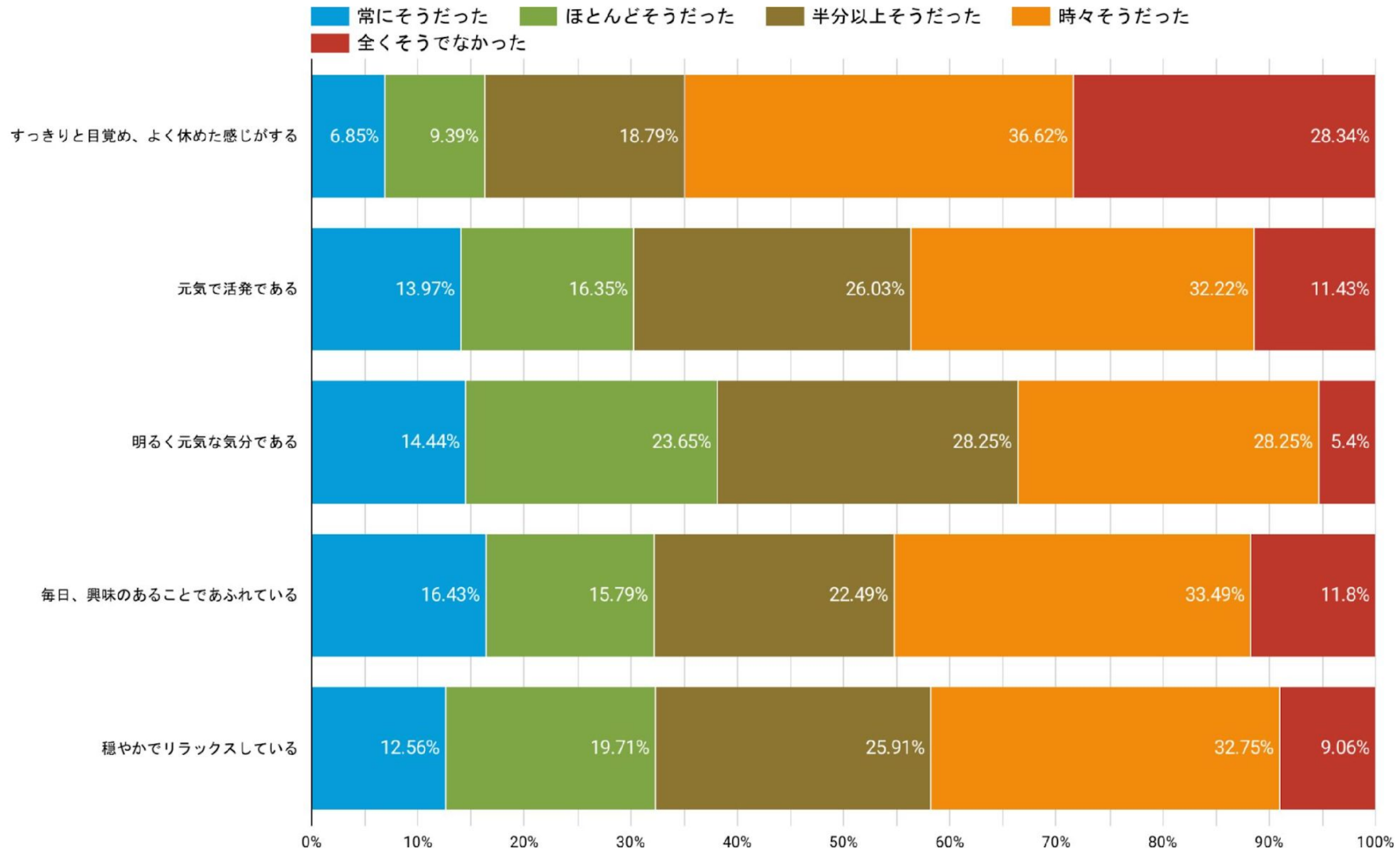
説得力

効果的に議論を展開するスキルのことです。説得力のある証拠や理由を示し、相手の理解を得ます。異なる意見を尊重しながらも、はっきりと自分の意見を述べ、論理的に、表現を工夫しながら議論を進めることが重要です。

このスキルを伸ばすには:

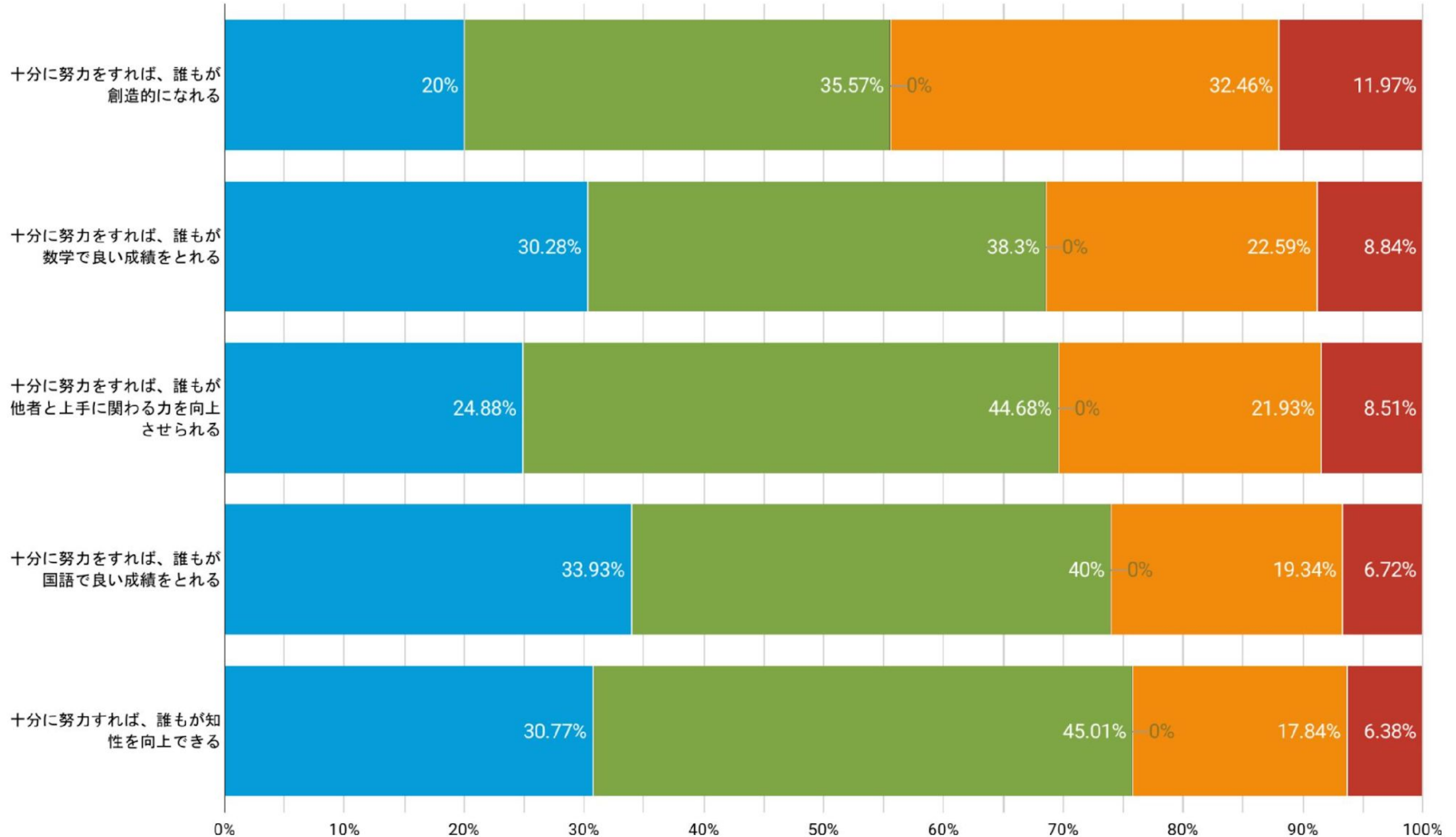
1. 人に誠実に接する。
2. 意見を伝える時は、他者に敬意を払う。
3. 対話する際には、余計な緊張感を生み出さないようにする。
例)落ち着いたトーンで話す。ゆっくりと話す。リラックスしたボディランゲージを心がける。
4. 説得力のある証拠や理論を提供し、議論を構築する。
5. 議論の内容に精通する。
例)データ・統計・文献などから知識を得る。セミナーや研修に参加する。専門家からのアドバイスや情報を得る。最新の動向やトレンドを把握するために、新聞・書籍・インターネットから情報を得る。
6. 言葉や表現方法を工夫しながら、自分の意見を伝える。
例)グラフや図表などの視覚的な要素を利用する。ストーリーテリングを活用する。具体的な事例を示す。
7. 異なる意見を持つ人々と対話する際には、相手の話をよく聞くことを心がける。
8. 意見が合わない場合は、相手が理解しやすいよう丁寧に自分の意見を伝える。

次のことについて、最近2週間のあなたの気持ちに最も近いものを選んでください。



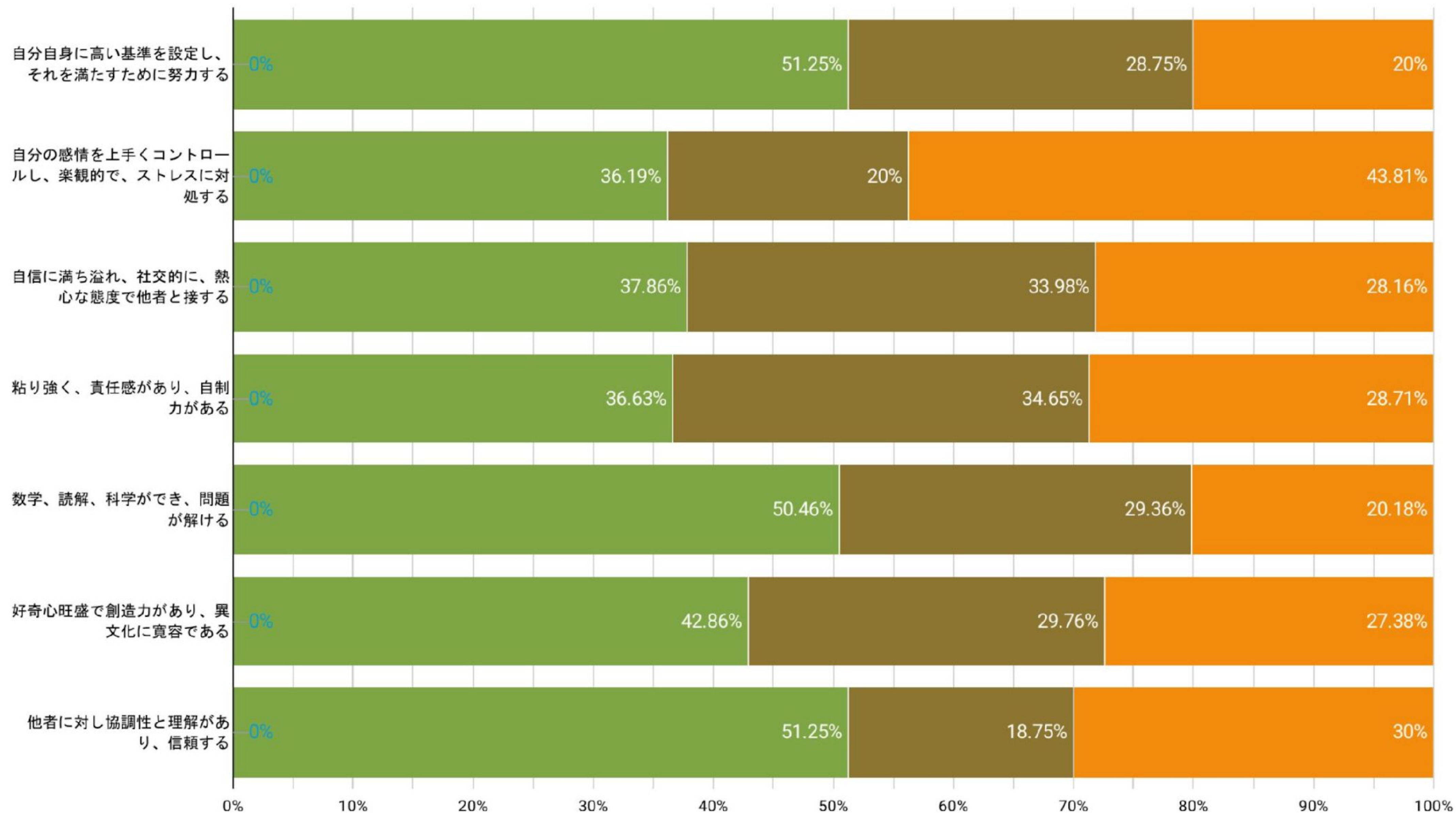
成長思考について、次のことは、あなたにどの程度あてはまりますか。

■ とてもそう思う ■ ややそう思う ■ どちらでもない ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない



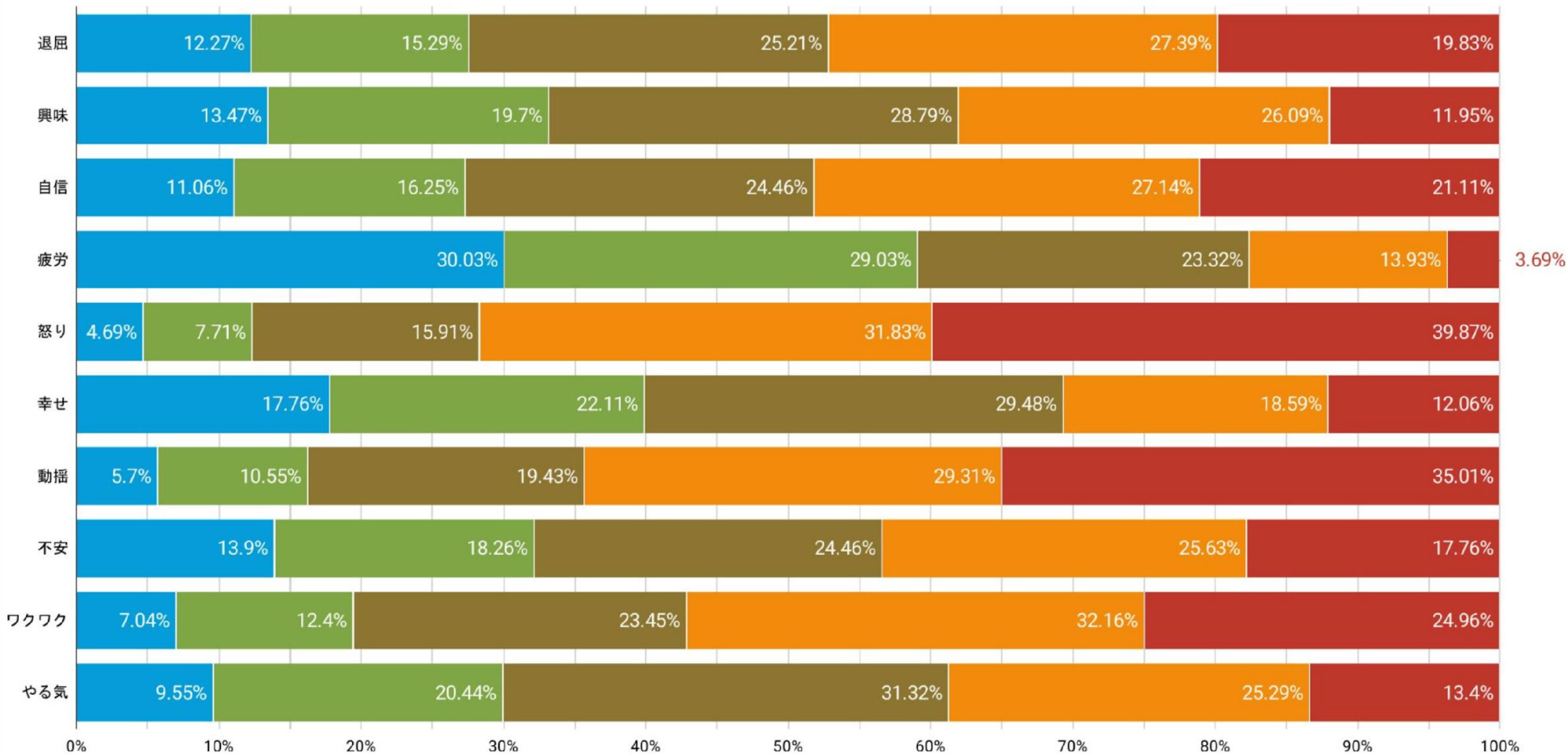
次の特性は、将来成功するために、男性と女性、どちらにとってより重要だと思いますか。

■ どちらにとっても重要
 ■ どちらにとっても重要でない
 ■ 男性の方が重要
 ■ 女性の方が重要



最近1ヶ月、学校で次のような気持ちにどれぐらいなりましたか。

■ いつも、またはほとんど
 ■ 半分以上
 ■ 半分ぐらい
 ■ 半分以下
 ■ 全く、またはほとんどない



実現のために必要な要素

1. 評価方法

— 伸ばすべきスキルの把握

2. 教示方法

— 伸ばしたいスキルを伸ばす方法

3. 練習方法

— 学んだスキルの定着



NAVIGATING SEL FROM THE INSIDE OUT

LOOKING INSIDE & ACROSS 33 LEADING SEL PROGRAMS:
A PRACTICAL RESOURCE FOR SCHOOLS AND OST PROVIDERS

REVISED & EXPANDED SECOND EDITION

(PRESCHOOL & ELEMENTARY FOCUS)

JULY 2021

Build **Equitable Critical Thinking** during regular class meetings by having students set a classroom goal or solve a classroom problem together that touches upon issues of fairness, justice, or related concerns about which they feel passionate. As students raise questions and concerns within the context of their classroom community, have them engage in **planning**, **problem-solving**, and **goal-setting** by following a number of steps in which they:



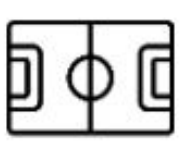








1. Identify a class-wide problem area,
2. Brainstorm possible solutions together,
3. Collectively decide on a plan they will put into action or a goal they want to reach and,
4. Track their progress moving forward.

ハーバード大学 23プログラムスキルアセスメント

Program	Cognitive	Attention Control	Working Memory & Planning Skills	Inhibitory Control	Cognitive Flexibility	Critical Thinking	Emotion	Emotional Knowledge & Expression	Emotional & Behavioral Regulation	Empathy/Perspective-taking	Social	Understands Social Cues	Conflict Resolution	Prosocial/Cooperative Behavior	Values	Ethical Values	Performance Values	Civic Values	Intellectual Values	Perspectives	Optimism	Gratitude	Openness	Enthusiasm/Zest	Identity	Self-Knowledge	Purpose	Self-Efficacy/Growth Mindset	Self-Esteem
4Rs	33%	14%	4%	12%	8%	4%	36%	26%	11%	17%	56%	8%	21%	42%	15%	10%	1%	▲ 7%	0%	3%	0%	1%	2%	0%	6%	5%	0%	0%	1%
AI's Pals	26%	4%	0%	18%	6%	0%	45%	36%	16%	7%	61%	12%	20%	38%	13%	12%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	24%	3%	0%	1%	▲ 22%	
Before the Bullying	5% ▼	1%	1%	3%	0%	0%	42%	23%	3%	22%	53%	0%	6%	52%	22%	▲ 21%	1%	4%	0%	5%	0%	4%	1%	0%	8%	1%	0%	6%	5%
Caring Schools Community	2% ▼	1%	0%	0%	0%	1%	8% ▼	7% ▼	1%	2%	▲ 94%	0%	1%	▲ 93%	3%	2%	0%	0%	0%	2%	0%	2%	0%	0%	2%	1%	0%	0%	1%
Character First	27%	7%	13%	10%	1%	1%	10% ▼	2% ▼	3%	4%	58%	1%	6%	57%	▲ 71%	▲ 46%	▲ 35%	5%	1%	▲ 16%	2%	▲ 6%	▲ 6%	1%	3%	0%	0%	1%	2%
Competent Kids, Caring Communities	27%	7%	9%	4%	4%	10%	44%	26%	19%	11%	29% ▼	5%	10%	18% ▼	22%	13%	▲ 10%	2%	1%	5%	0%	0%	5%	0%	12%	7%	1%	5%	4%
Conscious Discipline	10% ▼	0%	2%	4%	2%	3%	▲ 58%	46%	▲ 36%	5%	61%	15%	9%	47%	3%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	2%	0%	2%	2%
Getting Along Together	50%	11%	▲ 26%	17%	5%	13%	37%	26%	11%	19%	55%	7%	18%	45%	3%	0%	2%	0%	1%	1%	1%	0%	0%	0%	5%	2%	0%	2%	1%
Girls on the Run	18%	2%	4%	7%	1%	5%	15% ▼	13%	6%	1%	51%	1%	11%	50%	27%	9%	▲ 9%	▲ 13%	0%	6%	0%	5%	2%	0%	▲ 43%	▲ 16%	0%	▲ 16%	▲ 23%
Good Behavior Game AIR	▲ 91%	0%	▲ 73%	0%	0%	▲ 18%	0% ▼	0% ▼	0%	0%	▲ 91%	0%	0%	▲ 91%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	18%	▲ 18%	0%	0%	0%
I Can Problem Solve	43%	5%	7%	3%	▲ 31%	2%	▲ 56%	▲ 50%	1%	▲ 39%	56%	16%	▲ 33%	18% ▼	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	0%
The Incredible Years	23%	6%	2%	5%	6%	7%	32%	26%	14%	4%	77%	6%	19%	66%	4%	2%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	3%	0%	0%	1%	

⁶ A single program activity may target more than one domain. For this reason, the proportions of activities targeting each skill and/or domain may not add up to 100%.

ハーバード大学 13のSEL分野との関わり

Program	Classroom Activities Beyond Core Lessons		Climate & Culture Supports	Applications to OST	Tools to Assess Program Outcomes	Professional Development & Training		Support for Implementation	Tools to Assess Implementation	Flexibility & Fit	Family Engagement	Community Engagement	Equitable & Inclusive Education				
		Support for Academic Integration					Adult Social-Emotional Competence							Equity	Trauma	Special Education	ELL
4Rs	●	✓	●	○	◐	●	✓	◐	○	◐	●	◐	★	✓	--	--	--
AI's Pals	●	--	◐	◐	●	●	--	●	●	◐	◐	○	★	✓	✓	✓	--
Before the Bullying	◐	--	○	★	◐	◐	--	○	○	◐	◐	○	○	--	--	--	--
Caring School Community	★	✓	★	○	●	◐	--	●	●	◐	◐	●	●	✓	--	--	✓
Character First	○	✓	◐	◐	○	◐	--	○	○	★	◐	○	◐	✓	--	--	--
Competent Kids, Caring Communities	●	✓	◐	◐	●	●	--	●	●	●	◐	○	●	✓	✓	✓	✓
Conscious Discipline	●	✓	★	◐	★	●	✓	●	●	★	●	○	●	✓	✓	--	--
Getting Along Together	★	✓	●	◐	◐	●	--	●	●	◐	●	◐	○	--	--	--	--
Girls on the Run	◐	--	●	★	●	●	--	●	●	◐	◐	★	★	✓	✓	✓	✓
Good Behavior Game AIR	○	✓	◐	○	●	●	--	●	●	★	○	○	○	--	--	--	--
I Can Problem Solve	●	✓	◐	◐	★	●	--	◐	●	●	◐	○	○	--	--	--	--
Incredible Years	●	✓	◐	◐	○	●	--	◐	●	●	★	◐	●	✓	--	✓	--
Kimochis	●	✓	★	◐	●	●	--	●	◐	●	●	○	●	✓	--	✓	--



View All Programs

Sort

- Alphabetical by program name
- Sort by designation

Filter



EVIDENCE SHOWN IN GRADES

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> Pre-K | <input type="checkbox"/> K |
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 2 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 4 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 6 |
| <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 8 |
| <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 10 |
| <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 12 |

PROGRAMS OFFERED FOR

- Early education (Pre-K-1)

Showing 85 of 85 programs [Clear Filters](#)

COMPARE PROGRAMS: 0 OF 3

[Clear Comparison](#)

.b

SEL-Supportive Program ?

[View Full Details](#)

PROGRAM SNAPSHOT

Program approach: Free Standing Lessons

Significant evaluation outcomes: Reduced emotional distress

Student characteristics: Asian / Asian American, White

School characteristics: Non-US location



COMPARE

4Rs

SElect ?

[View Full Details](#)

PROGRAM SNAPSHOT

Program approach: Free Standing Lessons

Significant evaluation outcomes: Reduced emotional distress, Reduced problem behaviors, Improved social behaviors, Improved other SEL skills and attitudes

Student characteristics: Black / African American, Hispanic / Latinx, Low income

School characteristics: Urban, Northeast



COMPARE

実現のために必要な要素

1. 評価方法

— 伸ばすべきスキルの把握

2. 教示方法

— 伸ばしたいスキルを伸ばす方法

3. 練習方法

— 学んだスキルの定着

学校全体SELの指標...



CLASSROOM

SCHOOL

FAMILY
COMMUNITY



明示的なSELの指導



学習と統合されたSEL



生徒の積極的な参加



学校と教室の協力的な雰囲気



大人のSEL



協力的な行動



連続的で統合された支援



家族との協力的な関係



地域との良好な関係



改善し続けることを可能にするシステム

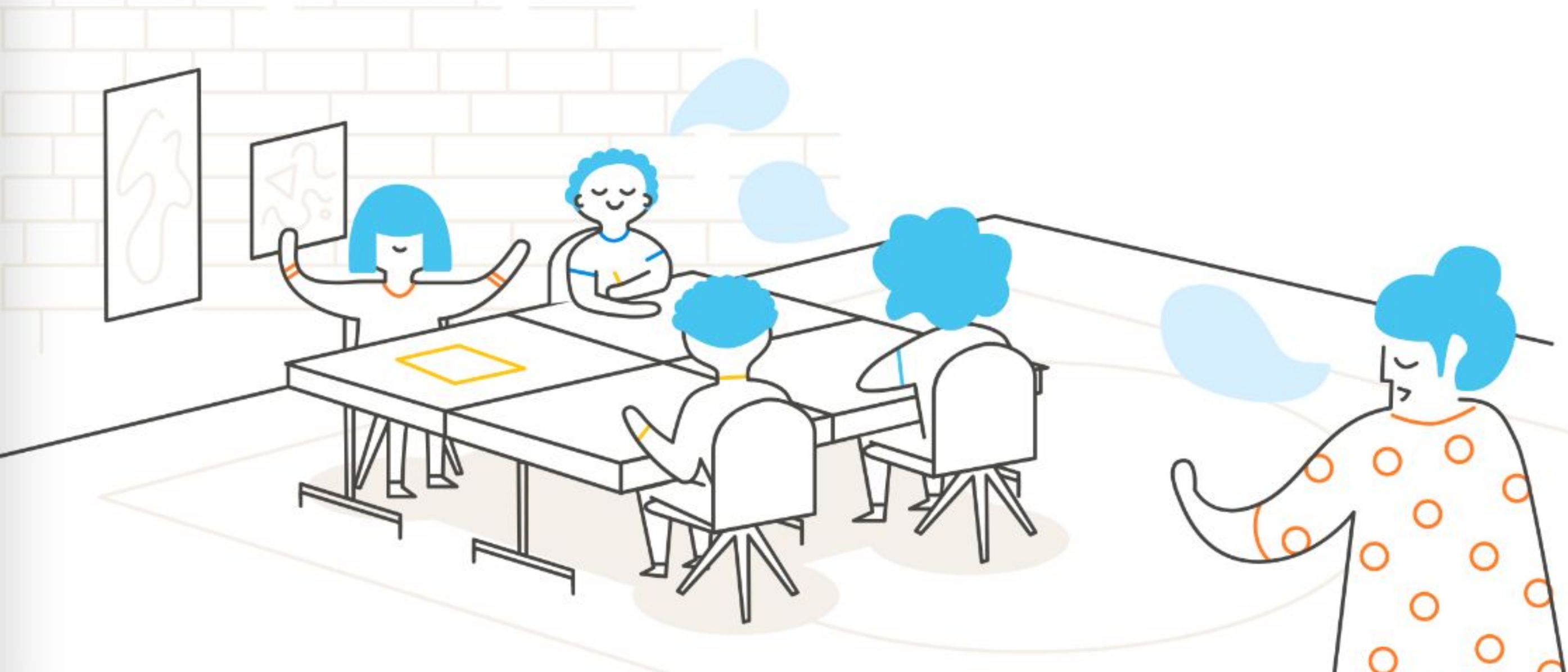


CASEL's District Resource Center

The District Resource Center helps school districts make social and emotional learning (SEL) an integral part of every student's education. Find research, knowledge, and resources curated from school systems across the U.S. to support high-quality, systemic implementation of SEL.

[How It Works](#)

 [Scroll for More](#)



協働の可能性

ダニエル・J・シーゲル



- UCLA医科大学精神科臨床教授
- UCLAマインドフル・アウェアネス研究所取締役
- マインドサイト研究所専務取締役

育児や子供の発達の講演やワークショップを世界中で実施



Children's Brain
Releasing "To Train" ...
ダニエル・J・シーゲル



生き抜く力をはぐくむ 愛
着の子育て
ダニエル・J・シーゲル



脳をみる心、心をみる脳:
マインドサイトによる…
ダニエル・J・シーゲル

[Home](#) [About](#) ▾ [People](#) ▾ [Projects](#) ▾ [Professional Development](#) [News & Resources](#)

ROLES

Director (2)

Research and Program Staff (8)

Doctoral Students (6)

Past Doctoral Students (8)

[HOME](#) / [PEOPLE](#) /

Dr. Stephanie M. Jones

Gerald S. Lesser Professor in Early Childhood Development

Director of EASEL Lab



Stephanie M. Jones is the Gerald S. Lesser Professor of Child Development and Education in the Harvard Graduate School of Education at Harvard University. Her research, anchored in prevention science, focuses on the effects of poverty and exposure to violence on children and youth's social, emotional, and behavioral development. Over the last ten years her work has focused on evaluation research addressing the impact of preschool and elementary focused social-emotional learning interventions on behavioral and academic outcomes and classroom practices; as well as new curriculum development,

Dr. Kimberly Schonert-Reichl

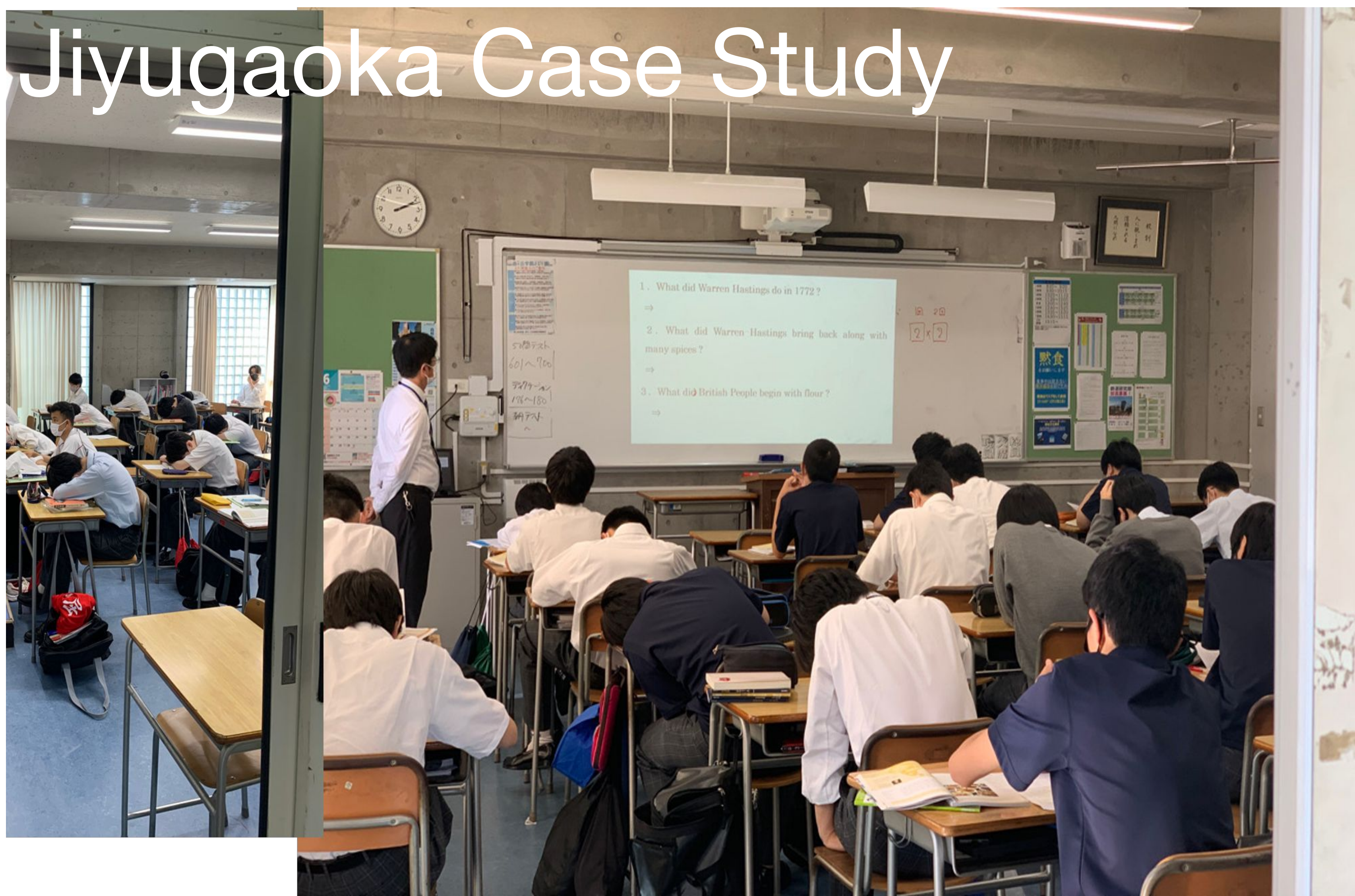
イリノイ大学シカゴ校
社会的・情緒的学習 名誉教授職



Dr. Kimberly Schonert-Reichl is an Applied Developmental Psychologist and a Professor in the Human Development, Learning, and Culture area in the Department of Educational and Counselling Psychology, and Special Education at the University of British Columbia (UBC). She is also the Director of the [Human Early Learning Partnership](#) in the School of Population and Public Health in the Faculty of Medicine at UBC. Dr. Schonert-Reichl began her career as a middle school teacher and then was a teacher for “at risk” adolescents in an alternative high school. She received her M.A. from the University of Chicago and her Ph.D. from the University of Iowa. She was a National Institute of Mental Health Postdoctoral Fellow

in the Clinical Research Training Program in Adolescence at the University of Chicago and Northwestern University Medical School in the Department of Psychiatry.

Jiyugaoka Case Study





【教育イノベーションプロジェクト全体イメージ】～教育による「始動人」の育成 / SEL導入後の変化～



「始動人 輩出県」を目指す

群馬で育った「始動人」が
次の「始動人」の育成に還元

※「始動人」: 自分の頭で考え、他人が動かない領域で
動き出し、生き抜く力を持った人材

教育DXを基盤とした学校での新たな学び ×各年代
(就学前～社会人)に応じた多様な学びの機会を提
供により、「始動人」となるための資質・能力を育成
する

全庁で様々な分野の取組を展開

自分で考え動き出す
→**価値創造(想像)力**育成

デジタルツールを使いこなす
→**デジタル人材**育成

世界に目を向ける
→**グローバル人材**育成

SELによる「非認知能力」により
各項目が向上

SELによる「非認知能力」により
各項目が向上

SEL



学習指導要領を踏まえた教育課程の展開による「**生きる力**」
(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」)の育成

DXを基盤とした新しい学びの確立

誰一人取り残さない学び

高校から幼児教育

社会人から大学

教育基盤整備

民間企業等の多様な主体の参画

Questions?

Thank you